

平成 27年度
第 1 号

耕 人

『耕人塾』

塾長木村民男

平成 27 年 6 月 20 日(土)

第 4 期 『耕人塾』 で目指しているもの

平成 24 年 10 月に多くの方々のご支援をいただき、『耕人塾』がスタートして今年で 4 年目を迎えます。『耕人塾』では、石巻地域の中・高校生の「人間力（徳・体・知）」を磨き、地域社会に貢献する人材育成を目指しています。その指導指針は次の 3 点です。

- ① 社会貢献への高い「志」を持たせ、討論や実践活動を通して、「人間力」を向上させる。
- ② 「文・武・楽（学問・武道・スポーツや趣味）」の体験を通して、人間的な幅と深さを身に付けさせる。
- ③ 日本の伝統文化を体験させ、自然や郷土を愛する心を育て、礼儀作法を身に付けさせる。

今年度は、石巻専修大学、宮城県教育委員会、石巻市・東松島市・女川町教育委員会の後援をいただき、過去 3 年間の成果と反省を生かし、「世界に誇れる石巻地域にしよう」というテーマの下、塾生の主体的活動や班での実践活動を重視した研修にしたいと考えています。「世界に誇れる」とは、景観の美しさや歴史的な建造物も大事ですが、ワールドカップサッカーでサポーターが観客席のごみ拾いをするとか、旅行客が困っている時は親切に対応してくれるとか、財布を落としても交番に届けられているとか、お年寄りに席を譲るとか、というさりげない優しさや思いやりがあふれていることだと思っています。

そこで、『耕人塾』の実践活動の柱を「あいさつ・清掃・ごみ拾い」としました。「世界に誇れる石巻地域」にするためには、このような当たり前の活動の質を高め、素晴らしいと思われるくらいにやることが大切だと思います。いつでもどこでも誰とでも明るいあいさつが交わされる街、自然も、道路や公園もきれいに清掃が行き届いている街、ごみが落ちていない清々しい街にすることが「世界に誇れる」ことの土台になると思っています。

さらに、感動や楽しさのある活動も取り入れていきたいと考えています。特に、8 月 17 日（月）・18 日（火）は旭山のコロボックルハウスでの 1 泊 2 日の宿泊研修を予定しています。塾生のアイデアも取り入れながら、楽しく達成感のある研修にしたいと思っています。

塾生の皆さんは、生徒会活動や部活動、学校の勉強等で多忙な時期ですが、自分の「人間力」を磨き、地域や社会に貢献しようという高い志をもって集まったことに敬意を表します。また、お子様の送迎をしていただく保護者の方々に深く感謝申し上げます。私たち指導者も若い人材を育てるために全力を尽くしたいと決意を新たにしています。『耕人塾』で育った人たちが、3 年後、5 年後、10 年後に石巻地域を牽引する人になってくれることを期待しています。

「志を立つ」（橋本左内「啓発録」から）

幕末の志士である橋本左内は 15 歳（満 14 歳）の時に自分の生き方の指針として記した 5 か条が「啓発録」です。その中に「志を立つ」があります。左内は「志とは、自分の生き方の決意を固めるということである。志を立てるには、聖賢（せいけん）の教えや歴史の書物を読んで、その中から深く心に感じた部分を書き抜いて壁に貼り、いつもそれを眺めて自己を省みて、自分の足らぬところを努力することが大切である。そして、自分が少しずつ前進するのを楽しみとすることである。」と述べています。塾生の皆さんも各自の「志」を立て、今日から新たな自分をつくっていくために歩み出しましょう。皆さんがどのように成長するか楽しみです。